

学校法人岩手キリスト教学園

5 回目の
認定！

所在地 ▶盛岡市

業 種 ▶教育学習支援業

労働者数 ▶202 名（うち女性 184 名）認定時点

認定年月日 ▶令和 3 年 5 月 6 日（くるみん 5 回目）

▶令和 2 年 1 月 15 日（えるぼし 2 段階）



認定要件の主な達成状況

- 計画期間中の男性の育児休業等の取得率・・・100%（1 名）
- 計画期間中の女性の育児休業等の取得率・・・93%

1. 子育て支援・女性の活躍推進に関する企業の方針

学園所属施設は認定こども園 5 施設、小規模保育所 2 施設、家庭的保育所 1 施設、学童保育クラブ 1 施設、フリースクール 1 施設です。2023 年度からさらに保育所 1 施設が加わります。建学の精神にキリスト教保育を掲げ、自分自身も周りの人も愛し大切にできる人間の育成に力を注いでいます。各施設の運営方針を尊重しつつ、労務管理、職員研修等では連携して職場環境の改善を図ってきました。

子育て支援、男女ともに活躍できる職場づくりは、人材確保の上でも重要な取組です。ワークライフバランスを整えることで、家庭や地域など職場以外での経験も保育等に生かされるよう願っています。通勤可能な施設間では、人事交流も進め、長く働き続けながらキャリアアップできる体制を目指しています。

2. 子育て支援

（1）制度の状況

◆ 法を上回る制度

- ・小学校入学前までの所定外労働の免除申請。
- ・ファミリーサポート休暇制度（子の学校行事（幼児施設、小中学校、高校等）や家族の通院などに利用可。年間有給 3 日付与）。
- ・育児のための早朝、遅番勤務の免除（子が 3 歳になる年度末まで。保育所通所に支障をきたすなど妥当な理由のある場合）。
- ・男性の育児目的休暇制度（配偶者の出産支援の他、就学前の子どもの育児を目的として年次有給休暇とは別に 10 日間を限度に付与）。
- ・保育手当の加算制度（子を法人内の施設に入所させる場合 1 人につき月額 7,000 円を保育手当として加算）。

（2）利用状況等（2021 年度実績）

- ・男性の育児目的休暇、育児休暇取得者 1 人（2020 年度）。
- ・保育手当加算制度対象者 7 人（2021 年度）。
- ・育児短時間勤務制度利用者 6 人（2021 年度）。

3. 女性の活躍

2020 年 1 月にえるぼし認定企業に認定されました。2022 年 5 月現在、管理職 35 人のうち女性は 31 人に上り、大きな責任を担っています。30 歳以上の女性の中途採用は 10 名（2021 年度）でした。子育てや他業界等でのキャリアが保護者対応、経理、広報など幅広い業務に活かされています。60 歳を超えての再任用や短時間正社員制度など多様な就業形態が幅広い人材の活躍につながっています。

4. 労働時間の縮減・休暇の取得促進

◆ 労働時間の削減

- ・ノー残業デーを月2回設定している他、管理職者から率先して定時退社するよう心掛け、なるべく定時に仕事を終える職場の雰囲気作りを進めています。
- ・保育に伴う作成書類は膨大な量です。書類作成に集中できる時間を互いの業務を調整して作ったり、書式の工夫改善を図ったりして残業の削減に努めています。

◆ 休暇の取得推進

- ・男女とも育児休業取得率は、ほぼ100%で子育てしながら仕事を続け、キャリアアップを目指す職場風土が醸成されつつあります。
- ・年次有給休暇は1年に5日間を上限に、時間単位での取得が可能です。ファミリーサポート休暇も育児や介護などのために多くの職員が利用しています。

5. その他

◆ 保護者の理解を得るための取り組み

- ・早朝から夕方遅くまで複数の保育者が入れ替わりで保育に従事するため、保護者との情報共有が重要です。信頼関係を築いて保育を進められるようホームページの整備や学園機関誌の発行、保護者向けアンケートの活用などに努めています。

◆ 地域に向けた取り組み

- ・地域に開かれた子育て支援施設として、未就園児や地域の保護者のための子育て支援プログラム等を実施し、保育相談窓口機能の拡充を図っています。

6. 取得に向けて苦勞したことや頑張ったこと

教職員に子育て世代が多く、互いが希望通り休暇を取るためには、余裕を持った職員配置が欠かせません。幅広い年齢層の教職員が支え合う体制づくりが課題です。

もともと女性教職員が9割以上を占め、配偶者を持つ男性教職員は少数です。その中で男性教職員が育児休暇等を積極的に取得できるよう配慮しました。職場環境や処遇の改善を重ねる中で、幼児教育・保育の現場で働く男性教職員も増やし、男女ともに積極的に子育てに関わる社会の醸成に寄与したいと考えています。

7. 企業からのメッセージ

職員は自らの職務にやりがいと責任を感じて働いています。少子化時代にあって当法人では、年間の出産者、育児休業取得者は学園全体で毎年10人前後おり、子育てと仕事の両立が当たり前を受け止められるようになりました。次世代を担う子どもたちを育てていくことは、学園に託された大切な使命です。地域の子育て支援ニーズを敏感に捉え、その期待に応えていきたいと考えています。



くるみん認定通知書を交付